



ヒシ取りプロジェクト

諏訪湖浄化に向けての活動は、
町民が一丸となって取り組み
一定の成果を上げています。
さらに推進するためには。

ヒシ取りと婦人会

長野県連合婦人会副会長

高木 萬知江



諏訪湖のヒシと婦人会のそも
そのきつかけは、平成二十年
に町連合婦人会が諏訪湖漁業組
合に講演をお願いしたことに始
まります。当時はヒシの繁茂が
目立ち始めた頃であり、この講
演をきっかけに婦人会の事業と
して始められました。危険とい
われかなりの批判の中で、漁協
さんの後押しでの実現でした。
ヒシといえば銀行のマークか
忍者の投げる物：それが湖の底
にしっかりと根付いているとは
全く知らなかったこと。舟に乗
り水に浮いてその下三メートル

もある草をたぐり寄せて抜くの
はコンブ漁のようで、揺れる度
に舟べりにつかまる怖さでした。
しかし慣れるに従い爽快感や
達成感も増して、二年目は対象
を諏訪郡連合婦人会まで広げ、



AQUA SOCIAL FES! 2012年
副知事・町長とともに

着替えのための温泉と昼食会が
加わりました。
アクア・ソーシャル
フェスティバル
トヨタ自動車が新型ハイブリ
ッドカー「アクア」発売に因み
地方紙を主催として水(アクア)
に関する社会活動をするること
になり、長野県では諏訪湖のヒシ
が取り上げられました。

その結果四回目は、トヨタ・
信毎・漁協・周辺市町村・婦人
会が一体となったの事業となり
信毎一般公募の百名は遠方から
の参加もあって、観光面での一
助ともなりました。

全国五十ヶ所の海や川・干潟
で行われたこのイベントは、ウ
ミガメ・鮭・ホタルなど各地の
特徴あるものばかり。その中で
わがヒシ取りは、湖・温泉・学
習会・ヒシの肥料化等これでも
かの内容の上に労力、参加人数
の多さが評価されて賞までいた

だいたいです。

五回目の昨年は県の後援が加
わり、予算面でも国や県を動か
す大きな進歩を見せ始めました。
こうして諏訪湖浄化の長期計
画やさまざまな取り組み、関係
者の長年の努力は徐々に成果を
示しつつあるのが現状です。

それ以前も今も、ヒシを取っ
たのは私たちだけではありませ
ん。また取った量は湖全体から
見ればほんの一部に過ぎません。

しかしこの事業が「あのおば
さんたちが」と言われながらも
関心を呼んで、少しずつ輪が広
がって行ったのはまさしくソー
シャル(社会的)なことでした。
多くの皆様と良い関係が築け、
お世話になったこと、きつかけ
を作っただけの平凡な私たちに
与えられたこの成行きを、本当
に有難いことと思いつつ、時に
畏れの気持ちさえ抱いているこ
の頃です。

この広き湖一面を如何にせむ
繁茂のヒシの強き営み

いっしょに活動しませんか

「消費者の会」の取り組み



消費者の会の誕生

消費者の保護を目的とした
「消費者保護基本法」が制定さ
れた昭和四十九年に、下諏訪町
消費者の会が誕生しました。オ
イルショックの後で、灯油の契
約共同購入を手がけたり、食品
添加物の学習、合成洗剤の手や
食器の残留テストなどを行い、
また学校給食の食器洗浄機を石
けん洗浄機に変えたりしました。

合成洗剤の追放から

廃油回収へ

石油を原料とする合成洗剤の
登場は、人体への害と同時に、
あつという間に諏訪湖を死の湖
と化し、魚は死に絶え悪臭が漂

消費者の会

藤森 せつ子

い、著しい環境汚染となりまし
た。そんな中、敢然と「この湖
を昔の美しい湖に戻したい」と
環境浄化運動が立ち上がり、廃
油回収が始まりました。この活
動は、諏訪湖浄化運動と食用廃
油から作る体にやさしく自然に
やさしい粉石けんの使用となり、
今も活動の柱となっています。

食用廃油と粉石けんの交換

廃油回収が始まった五十三年
頃、900kgほどだった廃油も
今は1500kg前後です。下水
道が完備したとは言え、台所か
ら河川に流れ出る油は諏訪湖を
汚しています。全町の皆さんに
廃油回収に協力いただき、きれ
いな諏訪湖につなげていきたい
と思います。回収日は、毎年七
月の第一日曜日午前九時から十

安心な石けん洗剤の使用を

日常生活では、合成洗剤では
なく食用廃油や植物油で作る石
けんを使いましょう。体にやさ
しく落ちが良く、諏訪湖浄化に
つながります。

今、消費者の会では、ゴミ減
量・石油削減・CO₂減量を目指
し、レジ袋削減・マイバック持
参運動を行い、持参率80%を目
標に店頭啓発を行っています。
仲間になって一緒に活動しませ
んか。お待ちしております。



8月・諏訪湖クリーンまつり

連絡先：TEL役場 (内線143)